

平成 21 年度水と緑の森づくり事業の評価結果について

平成 22 年 12 月 2 日
森 林 政 策 課

平成 22 年 6 月 17 日に開催した「富山県森林審議会森づくり部会（長井真隆部会長）」において、「水と緑の森づくり税」を財源とした平成 21 年度の水と緑の森づくり事業について評価いただきましたので、その結果を報告します。

記

1 評価結果

水と緑の森づくり事業の 7 事業のうち 6 事業は「達成」、みどりの森再生事業は「ほぼ達成」と評価されました。

事業名	評価結果	主な実績と評価のポイント
(1) 里山再生整備事業	達成	計画 600ha を大きく上回る 1,073ha を整備
(2) みどりの森再生事業	ほぼ達成	計画 325ha の約 8 割となる 268ha を整備
(3) とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	達成	プランの県民参加人数の目標 7,000 人を大きく上回る延べ 10,999 人の県民が森づくりに参加
(4) とやまの森づくり総合情報システム事業	達成	森林 GIS データを里山再生整備事業の計画策定に活用
(5) とやまの森づくり普及啓発推進事業	達成	「森の寺子屋」を 85 回実施、参加者からは、今後も開催を希望する意欲的な意見が多数あり
(6) 県産材利用促進事業	達成	利用者のアンケート調査では、木の持つ特徴を好意的に捉えた意見が多数あり
(7) 県民による森づくり提案事業	達成	新規実施団体が半数以上(25 団体中 13 団体)を占め、NPO 法人など多様な団体により実施

2 総括

水と緑の森づくり事業については順調に進んでおり、今後は県民の理解を得ながら、さらに事業が進展するように取り組むことが必要であることとされた。

3 部会委員

部会長	長井 真隆	元富山大学教育学部教授
部会長代行	神川 康子	富山大学人間発達科学部教授
委員	阿久津 聡	富山森林管理署長
〃	今村 弘子	富山大学極東地域研究センター教授
〃	木内 静子	公募委員
〃	内記 悦子	社団法人富山県建築士会役員
〃	渡邊 美保子	職藝学院教授

平成21年度 水と緑の森づくり事業の実績

1 富山県水と緑の森づくり基金積立額

354,745,470 円

水と緑の森づくり税収相当額	353,113,000 円
寄 付 金 ・庄川右岸中部用水土地改良区 ・(株)富山第一銀行 ・富山県母親クラブ連合会	147,070 円
運 用 益	1,485,400 円

2 水と緑の森づくり事業費

331,588,461 円

1. 県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善			1,122,706 円
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費 (決算額)
I 水と緑の森づくり推進事業	県民全体で支える森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価、事業の広報を実施	水と緑の森づくり会議(2回) 森林審議会森づくり部会(1回) 開催	1,122,706 円
2. 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進			267,116,887 円
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費 (決算額)
II 里山再生整備事業	地域や生活に密着した里山の再生整備を県民協働で推進	実施地区数 121地区 整備対象面積 1,073ha か/ナガキ/ムシの枯損木除去 3,370m ³ 竹林の管理や竹材の利用推進	157,679,095 円
III みどりの森再生事業	風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林に誘導	整備面積 132ha { 風雪被害林 30.5ha 過密人工林 101.7ha 県民参加で県産広葉樹苗を育成 30,000本	109,437,792 円
3. とやまの森を支える人づくりなどの推進			63,348,868 円
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費 (決算額)
IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	森林ボランティアを総合的・専門的に支援し、県民参加による森づくり活動を支援	登録団体数 67団体 3,633人 37企業 (H22.3.31現在) 森づくり参加延べ人数 年間10,999人	22,942,172 円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を提供	森林GISシステムの運用 とやまの森づくりホームページでの情報公開	4,917,427 円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、「森の寺子屋」を開催	森の寺子屋 85回開催(5,331人参加) フォレストリーダーのスキルアップ研修	4,133,577 円
VII 県産材利用促進事業	とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材製品の設置や、公共施設の木質化を推進	県産スギベンチの設置 80基 特別支援学校用机・椅子の開発 木育推進のための県産材遊具開発 など	22,764,360 円
VIII 県民による森づくり提案事業	県民自ら企画・実践する事業への支援 アイデアを募集し事業への反映を検討	県民実践事業 25件実施、延べ5,055人参加 アイデア提案 13件応募、うち2件をH22事業に反映	8,591,332 円